

(2018/8/15版)

第12回MUレーダー・赤道大気レーダーシンポジウム
第379回生存圏シンポジウム

日時: 平成30年9月5日(水) 14:00~17:50 (懇親会 18:00~19:30)
6日(木) 10:00~16:40

場所: 京都大学 宇治キャンパス 宇治総合研究実験1号棟5階セミナー室 HW525

主催: 京都大学生存圏研究所

Web: <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/ear/sympo.html>

プログラム

講演15分 + 質疑5分 (1鈴12分, 2鈴15分, 3鈴20分)

9月5日

(座長: 橋口浩之)

14:00 - 14:10 MUレーダー・赤道大気レーダー全国国際共同利用の現状

MUレーダー/赤道大気レーダー全国国際共同利用専門委員長 山本衛

14:10 - 14:30 赤道ライダーにより観測された赤道ケルビン波に伴う下降流による成層圏エアゾルの鉛直輸送

阿保真・柴田泰邦・長澤親生(首都大)

14:30 - 14:50 航空機監視レーダ(SSRモードS)から得られる気象観測情報の信頼性検証と活用

吉原貴之・瀬之口敦・毛塚敦・齋藤享・古賀禎(ENRI)・古本淳一(京大RISH)

14:50 - 15:10 パラメトリックスピーカーを用いた低騒音型RASS用音源の開発

六車光貴・橋口浩之(京大RISH)

15:10 - 15:30 MUレーダーを用いたスペースデブリの3次元形状推定に関する研究

上埜拓仁(京大RISH)・山川宏(JAXA)・橋口浩之・山本衛(京大RISH)

15:30 - 15:50 MUレーダーを用いた観測による未知スペースデブリの軌道推定手法に関する研究

鳥居拓哉(京大RISH)・山川宏(JAXA)・橋口浩之・山本衛(京大RISH)・佐藤亨(京大情報)

15:50 - 16:10

=== 休憩 ===

(座長: 下舞豊志)

16:10 - 16:30 Ku帯衛星回線の台風接近時における降雨減衰特性

前川泰之・山田修稔・柴垣佳明(大阪電通大)

16:30 - 16:50 Latest progresses in ShUREX (Shigaraki UAV Radar Experiment 2015-2017) data analyses

H. Luce (Toulon大, 仏/京大RISH)・H. Hashiguchi (京大RISH)・L. Kantha・D. Lawrence (Colorado大, 米)

16:50 - 17:10 Variation of Turbulence Kinetic Energy in the Tropical Tropopause Layer from Long-term Observation of Equatorial Atmosphere Radar

Noersomadi (京大RISH/LAPAN, Indonesia)・Hiroyuki Hashiguchi (京大RISH)

17:10 - 17:30 Retrieval of Temperature Profiles using Radio Acoustic Sounding System (RASS) with the Equatorial Atmosphere Radar (EAR) in West Sumatra, Indonesia

Ina Juani (LAPAN, Indonesia)・Hiraku Tabata (京大RISH)・Noersomadi (京大RISH/LAPAN, Indonesia), Halimurrahman (LAPAN, Indonesia)・Hiroyuki Hashiguchi・Tsuda Toshitaka (京大RISH)

17:30 - 17:50 インドネシア西部海大陸域における雷活動の日変化及び季節内変化 - Pre-YMC2015 観測結果 -

浜田純一(首都大)・森修一・勝俣昌己(JAMSTEC)・松本淳(首都大)・Fadli Syamsudin(BPPT, Indonesia)・米山邦夫(JAMSTEC)

18:00 - 19:30

=== 懇親会 (プログラム末尾をご覧ください) ===

9月6日

(座長: 浜田純一)

10:00 - 10:20 Pre-YMC 2015およびYMC-Sumatra 2017で観られたスマトラ南西沿岸陸域の対流活動の特徴

森修一・伍培明・城岡竜一・横井覚・米山邦夫(JAMSTEC)・濱田純一(首都大)・Urip Haryoko・Noer Nurhayati (BMKG, Indonesia)・Reni Sulistyowati・Fadli Syamsudin (BPPT, Indonesia)

10:20 - 10:40 コトタバンにおける水蒸気・オゾン・雲変動(2018年7月集中観測)

鈴木順子・木下武也・城岡竜一(JAMSTEC)・橋口浩之(京大RISH)・阿保真・柴田泰邦(首都大)・Halimurrahman・Syafrijon(LAPAN, Indonesia)

10:40 - 11:00 全天カメラの2地点観測による波状雲の高度推定及びパラメータの抽出

森脇亮介・下舞豊志(島根大)

11:00 - 11:20 EAR観測から推定された上空における雨滴粒径分布の高度変化

多田暁智・下舞豊志(島根大)

11:20 - 11:40 豪雨発生予測への大気レーダー応用可能性: 日本およびインドネシアの場合
山中大学(地球研)

11:40 - 13:00

=== 昼食 ===

(座長: 横山竜宏)

13:00 - 13:20 南極昭和基地大型大気レーダーによる電離圏観測

橋本大志(京大情報)・齊藤昭則(京大理)・西村耕司(極地研)・堤雅基(極地研)・佐藤薫(東大理)・佐藤亨(京大情報)

13:20 - 13:40 Results of joint ionospheric measurements with Kharkiv incoherent scatter and MU radars during near-equinox and solstice periods

Sergii Panasenko・Dmytro V. Kotov・Oleksandr V. Bogomaz (Institute of Ionosphere, Ukraine)・Yuichi Otsuka (名大ISEE), Mamoru Yamamoto・Hiroyuki Hashiguchi (京大RISH)・Leonid Ya. Emelyanov・Igor F. Domnin (Institute of Ionosphere, Ukraine)

13:40 - 14:00 The role of the evening eastward electric field and gravity wave activity on the sequential occurrence of plasma bubble

Prayitno Abadi・Yuichi Otsuka・Kazuo Shiokawa (名大ISEE)・Huixin Liu (九大)・Mamoru Yamamoto (京大RISH)・Tatsuhiko Yokoyama (NICT)

14:00 - 14:20 A periodic wave-like structure observed at low latitude ionosphere over Asian-Australian sector using total electron content obtained from Beidou geostationary satellites

Fuqing Huang (名大ISEE, CAS Key Laboratory of Geospace Environment, China)・Yuichi Otsuka (名大ISEE)・Jiuhou Lei (CAS Key Laboratory of Geospace Environment, China)

14:20 - 14:40 成層圏突然昇温の伝搬性電離圏擾乱への影響

大塚雄一・新堀淳樹(名大ISEE)・津川卓也・西岡未知(NICT)

14:40 - 15:00

=== 休憩 ===

(座長: 大塚雄一)

15:00 - 15:20 電離圏3次元リアルタイムトモグラフィーのMUレーダーによる検証

斎藤亨(電子航法研)・山本衛(京大RISH)・齊藤昭則(京大理)・C.-H. Chen (台湾国立成功大)

15:20 - 15:40 アジア域の電離圏赤道異常の日変化・季節変化の研究—衛星ビーコン長期観測—

坂本悠記・山本衛(京大RISH)・Kornyanat Hozumi (NICT)

15:40 - 16:00 二重薄殻モデル(粗トモグラフィー)を用いたGNSSデータからの赤道域電離圏全電子数の高精度導出と電離圏ダイナミクス解釈の試み

丸山隆・穂積 Kornyanat (NICT)・馬冠一(中国科学院)

16:00 - 16:20 熱圏鉛直風によるプラズマバブルシーディング

横山竜宏(NICT)

16:20 - 16:40 新しい衛星=地上ビーコン観測用の4周波デジタル受信機の開発—機器構成と試験結果—

山本衛(京大RISH)・松永真由美(東京工科大)

お願い

(1) 懇親会について

参加費： 一般： 4,000円、学生： 2,000円（予定）
会場： 京都大学宇治キャンパス生協2階「ピアチ」
申込み： 当日、受付にて出欠をお知らせ下さい

(2) 発表について

講演会場にはPCプロジェクタ1台を用意します。ご自身でノートPCを接続して下さい。それ以外が必要な場合には、事前に橋口 (hasiguti@rish.kyoto-u.ac.jp) まで御連絡下さい。

(3) プロシーディングについて

プロシーディングを作成いたします。発表いただいた方々には、下記要領にて原稿を作成・ご送付いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。
発表で使われたPowerPointファイルをお送り頂いても結構です。縮小して印刷いたします。

用紙： A4縦

ページ数： 2～6ページ

原稿締切： 2018年9月6日（木）（シンポジウム終了時まで）

送付方法： WordまたはPowerPointファイルを電子メールにてお送り下さい

あて先： 電子メール： ear-sympo@rish.kyoto-u.ac.jp

郵送の場合は下記宛に送付

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学生存圏研究所 橋口浩之

電話 0774-38-3819

備考： 白黒印刷で作成します。PDFファイルをホームページに掲載します。